図書だより

令和5年6月
香川一中図書室発行

6月、季節は「芒種」から「夏至」へ

「芒種」とは、稲や麦など穂の出る植物の種を撒くころのこと。「夏至」とは、1年で最も日が長く、夜が短いころのこと。6月はしっとり雨が降り、心身ともに安らかに過ごせる貴重な季節。夏至を過ぎるといよいよ夏本番です。夏に備えて、しっかり充電してみませんか。

あめふり　あめつぶじゅんこ

ようい どん と
くもから とびおりました
あめつぶみんなが はしると
そらに たくさんの
あめつぶのせんが できました

あめつぶ ひとつぶ あめ いっぱい
あめつぶ ふたつぶ あめ にほん
あめつぶ ひゃくつぶ あめ ひゃっぽん

あめつぶみんなが はしると
かぜが おっとっと と
でんぐりがえりしました
ことりが うひゃひゃ と
くすぐったがりました

あめつぶ ひとつぶ あめ いっぱい
あめつぶ ふたつぶ あめ にほん
あめつぶ ひゃくつぶ あめ ひゃっぽん

きょう そらは あめつぶで いっぱい

「のはらうた Ⅱ」工藤直子
童話屋

今月のおすすめ本

『給食アンサンブル 2』

913/キ　如月かずさ/作　光村図書出版

部活動を辞めたことを引きずる慎吾、推しキャラへの想いに心乱れる朋華、熱くなれないたちの楓乃、吹奏楽部の改革に孤軍奮闘する高城、「いい人」しか取り柄のない三熊、長い片想いを続ける千秋。それぞれに迷いや悩みを抱えた6人の中学2年生たちが、給食をきっかけに自分の本当の気持ちに気づきます。おいしいだけじゃない、心を温め、背中を押してくれる給食。あなたにも思い出のメニューはありますか。『給食アンサンブル 1（中学1年生編）』もあります。

第69回青少年読書感想文 課題図書3冊 発表!!

『スクラッチ』

913／ウ　歌代 朔/著　あかね書房

中学3年生、コロナ禍で「総体」が中止になったバレー部キャプテンの鈴音。美術部部長の千暁は出展予定の「市郡展」の審査が中止に。それでも出展作を描き続ける千暁のキャンバスに、鈴音が不注意から墨を飛ばしてしまい…。コロナ禍で黒く塗りつぶされた中3の夏。そのなかで自分たちらしい生き方を掴み取っていく中学生たちの、前向きにもがく姿を描いた物語です。

『アップステージ シャイなわたしが舞台に立つまで』

933／ア

ダイアナ・ハーモン・アシャー/作　武富博子/訳　評論社

シーラは目立つことが大きらいな女の子。そんなシーラが友だちに勧められミュージカルに参加することに。実はシーラは歌がうまく、カルテットのひとりに選ばれる。練習を重ねるうち、シーラはこのミュージカルを心から愛するようになる。ダレデモナイ子、と自分を例えていたシーラが、挑戦する勇気をふりしぼってたどり着いた本番の舞台。でもそこで更なる試練が…！ユーモアいっぱいの物語。

『人がつくった川・荒川 水害からいのちを守り、暮らしを豊かにする』

517/ハ　長谷川敦/著　旬報社

首都圏を貫く荒川は、たび重なる洪水に見舞われた「荒ぶる川」。これまで人の手で何度もつくり変えられてきました。この本では、人々の生活を豊かにするための「利水」と、人々を水害から守るための「治水」の二方面から、分かりやすく解説しています。江戸をつくったのは家康じゃなく荒川だった？など、面白くてスイスイ読めます。

※課題図書は図書室に届いています。借りられます。